

調整池設計諸元

1. 流出係数

土地利用種別	流出係数			
	総合治水条例	林地開発	宅造	砂防法
残置及び改植森林	0.70	0.70	0.70	0.70
造成森林	0.70	0.70	0.80	0.70
造成緑地	0.70	0.80	0.80	0.80
ソーラー用地	0.90	1.00	1.00	0.90
通路	0.90	0.90	1.00	0.90
調整池	1.00	1.00	1.00	1.00

※以上より 宅造基準を採用する

2. 土砂流出量(設計堆砂量)

ii) 工事完了後

土地利用種別	総合治水条例		林地開発		砂防法	
	土砂流出量	浚渫回数	土砂流出量	浚渫回数	土砂流出量	浚渫回数
残置及び改植森林	1.5 m ³ /ha/年	3年/回	1.0 m ³ /ha/年	5年/回	1.5 m ³ /ha/年	1年/回
造成森林			15 m ³ /ha/年			
造成緑地						
ソーラー用地						
通路						

※「宅造」の流入土砂量については技術マニュアルに記載無し。

3. 降雨強度式

総合治水条例基準に準ずる。(重要調整池の設置に関する技術的基準及び解説)

A1地域(宝塚市)

$$1/30\text{降雨強度式} = \frac{845.0}{t^{0.6+1.553}} \quad (\text{調整池容量算出時に使用})$$

$$1/200\text{降雨強度式} = \frac{1007.9}{t^{0.6+1.645}} \times 1.2 \quad (\text{余水吐容量算出時に使用}) \quad \text{※フィルダムの場合は} \times 1.44$$